

2006年6月

関係者各位

ラッセル・インベストメント・グループ
ラッセル・インベストメント証券投信投資顧問株式会社
代表執行役社長 マーク・C・ハンセン

代表執行役会長退任のお知らせ

謹 啓 時下益々ご清祥の段、お慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、弊社代表執行役会長の津野 正則が、2006年6月30日付けで退任することになりましたので、この場をお借りしまして皆様方にご報告申し上げます。

津野 正則は、1987年にフランク・ラッセル・ジャパン株式会社に入社、その後1989年に同社の代表取締役役に就任し、日本における年金運用コンサルティング・ビジネスのまさに礎を築いてまいりました。さらに、より資産運用サービスの範囲を広げるべく、フランク・ラッセル投信株式会社（現 ラッセル・インベストメント証券投信投資顧問株式会社）を立ち上げ、同社代表取締役社長に就任、投資信託および投資一任業務を統括し、ラッセル・グループとしての日本における資産運用業務の発展・拡大に努めてまいりました。また、2005年3月に現職に就任した後は、ひとつの会社としての枠を超え、日本における資産運用業界、年金制度の発展に資するべく、積極的に対外的な活動に注力してまいりました。

2006年は、ラッセル・インベストメント・グループにとりまして、日本オフィス開設20周年を迎える節目の年となります。津野がこれまでの19年間に築いてまいりました皆様方との厚い信頼関係をもとに、さらなる高品質のサービス・商品を投資家の皆様にご提供すべく、日本の資産運用業界の発展に貢献してまいり所存でございます。

今後とも皆様方からの一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹 白